

泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202
古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人 黒松内つくし園
泊村老人ホーム むつみ荘
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊
編集発行 むつみ荘広報委員会

ジンギスカンに喜びの笑顔

3月10日にほんわかユニット、18日にこやかユニットで食事会を行いました。職員が午前中からジンギスカン・焼きそば・いなり寿司などを準備しました。ジンギスカンを焼く音や香りも楽しんでもらうため普段とは違うテーブルの配置にして、利用者と職員でホットプレートを囲み、いつもと違う昼食の雰囲気を利用者からは「たまにはこういうのもいいね」「お腹いっぱい食べた」との声があがっていました。食後のアイスも「久しぶりに食べた」「美味しい」とおかわりされる利用者もいました。また利用者一人ひとりに合わせた食事形態で提供することができ、安全で楽しい食事会にすることができました。



～ 足早い春の訪れ ～ ～ 桃の節句 ～

3月3日のひな祭りに、養護ゆりりユニットはおしるこ、きらりユニットでは甘酒と、甘酒を使ったカップケーキを作りました。利用者と職員と一緒に作ったおやつはどれも美味しく、カップケーキに添えられた桜に春の訪れを感じることが出来ました。ユニットにある雛飾りを眺めながら、「今年も綺麗な雛さんだった」「あっという間に終わったね」と桃の節句を惜しむ声も聞かれました。そして、今年もロビーに飾られた、たくさんの雛飾りを見た来訪者からは、「今年もすごいね」と声を掛けて頂き、携帯で撮影される方もいました。来年こそは、たくさんの方に見てもらえる事を願っています。



牡丹餅の花が咲く

春のお彼岸の日に各ユニットで、ぼたもち作りをしました。ユニットによって餡の練り方や味付け、もちの形など様々なぼたもちが出来上がりました。利用者は、「久しぶりに作ると腕が鈍ってるね」と言っていたのですが、慣れた手つきであっという間に出来上がりました。利用者は、「あんこが甘くてとても美味しい」「また食べたい」と大好評でした。



昔ながらの雑巾作り

養護ゆりりユニットでは、ユニットで使う雑巾を指先の運動も兼ねて利用者をお願いして作って頂きました。皆で「これ、どやってやるんだっけ？」と昔を思い出しながら楽しそうに作業されていました。「これ、本当に使うの？」と聞く利用者には、「皆さんが作ってくれた雑巾は、ユニットの掃除に使うんですよ」と伝えると「それならちゃんと作らないと」と一針一針丁寧に縫ってくれました。

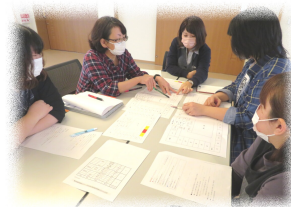


ゾーニング研修

1月～3月の期間中職員全員が参加出来る様、3回に分けてゾーニング研修を行いました。ゾーニングとは何?と思う方もいると思います。ゾーニング研修とは新型コロナウイルスに感染した利用者の居る区域と、そうでない区域を分けることを言います。道内の介護

事業所でのクラスターの発生も多く、むつみ荘も他人事ではありません。研修内

容は、実際の施設の間取り図を用意し、感染者、濃厚接触者が出た時、どこを区切りにレッドゾーン（汚染区域）とグリーンゾーン（清潔区域）を分けるかについて。「防護服はどこで脱ぐか」「関わった職員と関わらなかった職員の使う階段は分けたほうが良い」「トイレや更衣室も分けないと」など職員同士がたくさん意見を出し合いグループワークを行い、最後に発表しました。いつ出てもおかしくない状況にある中、もしもの時のためにこうした事前の研修を大切にしています。



職員募集!!

～老人ホームで一緒に働きませんか?～

むつみ荘では、機能訓練指導員・看護師を募集しております。施設の仕事に興味のある方は、是非ご応募ください。一緒に働いてくれる方をお待ちしております。

●勤務時間●

- ・シフト制（パート勤務可）

●資格●

【機能訓練指導員（特養）】

- ・作業療法士、理学療法士、言語聴覚士 等

【看護師（特養）】

- ・正看護師 ・准看護師



<連絡先>

0135-65-2255（担当：高橋）

面会等について

当施設では、緊急時を除く入居者様への**面会並びに外出・外泊を禁止**とさせていただきます。御家族の皆様には何かと御心配並びに御心労をおかけ

しておりますが、「警戒ステージ1」になるまでは**対面での面会を行わない事**としております。尚、LINE面会については、通常通り予約の受付をしております。ご不便をおかけいたしますがご理解ご協力を宜しくお願い致します。



施設長雑感

新年度のはじまりに当たり、一言ご挨拶申し上げます。時の経つのは早いもので、当施設にお世話になり、3年目を迎えました。利用者様並びにご家族、当法人・施設の職員の皆様や地域の方々を支えられながら、何とか今日まで業務を全うすることができました。改めまして深く感謝申し上げます。さて、昨年度は、「新型コロナウイルス感染症」の予防対応に追われた一年間だったといっても過言ではなく、例年実施している“夏祭り”などの各行事をはじめ、地域の皆様との交流事業の再開が叶わず、痛恨の念を禁じえないところであります。さらに本年1月27日からは「蔓延防止等重点措置」の発令に伴い、再び利用者様とご家族との面会等の制限もせざるを得ない状態が続いております。当措置は3月21日で解除されましたが、警戒ステージは依然として「2」のままであり、引き続きご家族並びに関係者の皆様には、不安感や不自由をおかけしますが、ご理

解とご協力方よろしくお願い申し上げます。このような状況の中、普段からの「丁寧なケア」の徹底に加え、各ユニットにおいては季節感溢れる食事会や催しものの開催など、職員一人一人が創意工夫し、良質なサービスの提供に努めてきました。現状コロナ感染症は、連日新規陽性者が千人を超えるなど、終息は見えない状況が続いておりますが、新年度においても、感染対策に万全を期すとともに、①良質なサービスの提供②安全で安心な施設づくり、③安定的な運営体制づくり④働きやすく開かれた職場環境づくりの四点を重点目標として、これらを実践しながら「選ばれる施設づくり」に職員一同邁進していく所存でございます。終わりになりますが、今後とも利用者様が安心して生活を続けていくことができよう、強く決意いたしますとともに、関係者の皆様におかれましては、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



施設長 高橋 英俊